

令和6年6月定例会一般質問表

6月5日、6日、7日

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---------------|---|------------------|
| 1 | 12番 山口 裕 昭 議員 | <p>1. 全国的な人口減少について 4月24日、本市が消滅可能性自治体から脱したと人口戦略会議の発表があったとの報道があった。 このこと自体は大変喜ばしいことだが、その後の市長のコメントにもあるようにその要因については不明な点が多い。 そもそも、人口戦略会議が発表する消滅可能性自治体とは若年女性人口の将来動向に着目して分析したもので、若年女性人口が2020年から2050年の30年間で50%以上減少する自治体を指すものだが、今回近隣では高畠町と長井市が新たに消滅可能性自治体となった。 このような数字に一喜一憂する必要はないとの考え方があることも事実ではあるが、何らかの要因があり今回の改善につながったことを考えると、綿密に調査を行い今後の施策に生かす必要があると考え以下の質問を行う。</p> <p>(1) 改善された内容について ① 人口戦略会議の発表後、調査は行っているか。 ② 本市で行っているアンケートなどの調査結果との整合性は。 ③ 新たに指定された近隣自治体の状況について調査しているか。</p> <p>(2) 今後の継続的な改善策について ① 今後継続的に改善されるためには若年女性の定着率向上が不可欠だが、現状考えている施策は。 ② 人が集まるためには働き口や、インフラ整備など多くの問題があるが、本市の強みを生かした施策などは考えているか。</p> | 市長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|--|--|---------------|
| 1 | 1 2 番 山 口 裕 昭 議 員 | <p>(1) クーリングシェルターのその後について</p> <p>① 今年も年度当初から夏日を記録するなど、熱中症の危険がある期間は以前より拡大しているが、本年はいつからクーリングシェルターを開設する予定か。</p> <p>② 昨年は地区公民館への設置や、民間施設に協力を頂くなどして初年度としては多くの施設で設置出来たが、本年度拡充の予定は。</p> <p>(2) 今後の暑さ対策は</p> <p>① 昨年は暑さ対策で市民プールの閉鎖が続いたが、その対策は。</p> <p>② 市民運動会は、本年から各地区の判断で時期や開催方法を検討し自主的開催する方向となったが、今後市としてはどのように関与する予定か。</p> | |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|--------------|--|---------------|
| 2 | 14番 高橋 一郎 議員 | <p>私は「住んでみたい、行ってみたい南陽市」をめざして※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問を通し政策的な提案をしています。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」のこと。</p> <p>1. 今まさしく100年の大計のとき 林野火災での137haの焼失、旧ハイジアパークの出直し問題、まさしく本市にとって最大のピンチが今。「ピンチをチャンスに」遠藤議長のもと、行政と一体となって本議会もこの難局に向かって、本市は今、まさに再生変革しなければならないときではないでしょうか。</p> <p>時代の波※1シンギュラリティー（技術的特異点）や※2市町村将来消滅の危機をも踏まえ、積極的な政策を導入すべきと考えます。私の提案は以下のとおりですが、今後の南陽市の政策変更も含めて真摯な議論をお願いしたい。</p> <p>※1シンギュラリティー（技術的特異点）：WEB3.0の世界となり、人工知能（AI）やその他の技術が急速に進化し、人間の知能を超える瞬間を指す。2045年とも言われるが、到達はもっと早いと思われる。※2市町村将来消滅の危機：民間組織の人口戦略の今年4月に本県の28市町村を含む744市町村が消滅すると発表した。2020～2050年の30年間で子どもを産む中心世代の20～30代女性が半数以下になるとの推計が根拠。人口減少の深刻さを示す。</p> <p>（1）変革の年の状況認識と判断 上述のとおり、今がいわゆるゲームチェンジャー（動向を大きく変える出来事）であると捉え、この難局を打開するには「身の丈に合った市政」から脱却をして、積極果敢に取り組む心構え、プロジェクトXのような強い意志が求められていると思うが、市長のご見識をお伺いします。</p> | 市長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|-----------------------|---|------------------|
| 2 | 14番 高橋 一郎 議員 | <p>(2) 旧ハイジアパーク南陽と奥山氏との今後について</p> <p>① 再度、温泉リゾート構想での応募を</p> <p>私は今回の四季南陽の事業断念は、奥山氏の財政状況等の悪化によるものだと考えている。風光明媚なロケーション等が変わったものではない。一旦、本市が買い戻したとしても、第3セクター方式での運営は難しい。</p> <p>「捨てる神あれば拾う神あり」との諺のとおり、再度、温泉・健康リゾート構想での応募をすべきと考えるがどうお考えでしょうか。</p> <p>(3) 人を呼び寄せるものをつくる。</p> <p>観光、ワイン、ラーメン、スポーツなど人を呼び寄せるもので、本市の強みを発揮できるもの。以前から私は、いわゆるドーム室内競技場の建設を主張してきました。それに加えニュースポーツのスケートボードやボルダリング、BMXなどの国際大会ができる本格施設の建設についてのお考えはいかがでしょうか。</p> <p>2. 姉妹都市について</p> <p>東京オリンピックホストタウン バルバドスとの交流を続けているが、私は当初から反対していたが、前述1.のように変革の時を鑑みて改めて質問します。</p> <p>(1) バルバドスとの交流は本市にとって関係性は何だったのか、市民にとってメリットは何だったのか。その具体的な検証は。</p> <p>(2) 本市と関係性のあるコトやモノ、文化面等、例えばぶどうとワインで国内外を問わず姉妹都市を締結することは本市にとって有益と捉えるが、ご見解をお伺いします。</p> | 市長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求める者 |
|-----|---|---|---------------|
| 3 | 9 番 濱 田 藤 兵 衛 議 員 | <p>1. 農家への支援について</p> <p>最近の農水省の統計では、コメ農家は年収1万円、畜産農家は年39万円の赤字経営と報告されている。ただでさえ、低価格の輸入農産物に押されて、日本の農家は苦しい経営にさらされてきたが、石油代・電気料金の高騰、輸入資材の高騰により一層の窮地に立たされている。加えて、気候変動や戦争による日本への食料輸出の縮小・停止が心配され、これに対して政府が食料自給率の向上より海外からの食料輸入を重視する姿勢の中で、安全な食料の安定した供給への不安が国民の中で募っている。これに対して、市の令和6年度の施政方針の基本目標には「力強い産業の基盤をつくる」として農業者へ支援が謳われているのは地方自治体として見識あるものとして評価したい。実効ある支援を農家に対して行って、農業を守り、そして市民の安全な食料を確保する施策を行ってほしい。</p> <p>(1) 学校給食で、より安全な学校給食が可能になるよう、県の補助金を使った地産地消の施策を行っている。これについて、ある農家は、地産地消、地元の農家への支援について「南陽市は頑張っている。」と評価している。「しかし、60代や50代の中堅農家への支援をもっと強化して欲しい。」との要望があった。</p> <p>① 地元食材を使った給食の児童や生徒からの評価はどうか。今後、市独自に南陽市内限定の地産地消品目や量、助成金額を増やす考えはあるのか、お聞きしたい。</p> <p>(2) 市内の酪農家（コメ生産、乳牛50頭）の経営状況をお聞きしたところ、「非常に厳しい。相変わらず配合飼料の価格が高騰している。いよいよ生活費を削るしかない。市内12軒の酪農家の内、後継ぎが決まっているのは9軒のみだ。」と語っている。畜産農家への支援を強化する必要性が高まっている。</p> <p>① 畜産農家への配合飼料高騰対策緊急支援事業補助金制度の期間延長や助成金の増額はありますか、お聞きしたい。</p> | 市長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---|---|------------------|
| 3 | 9 番 濱 田 藤 兵 衛 議 員 | <p>4. 介護サービス、訪問介護サービスの維持・充実について 訪問介護サービスの報酬削減により、全国で訪問介護サービスの施設が経営危機に陥ったり、訪問介護サービスの時間を削減したり、利用料を引き上げて対応したりしているなどの報道がある。在宅介護サービスを望む高齢者が希望をかなえられるよう、従来の訪問介護サービスの維持と更なる充実とを望みたい。そのためには、介護労働者の確保のために格別の処遇改善が必要である。なお、介護サービスの充実は、党の市民アンケートで2番目に多かった要望事項である。</p> <p>① 南陽市内の訪問介護サービスの施設の中で、訪問介護サービスの廃止やサービス時間の削減、あるいは利用料の引き上げを行った施設はどれくらいあるのか、お聞きしたい。</p> <p>② 一般に介護サービスに従事する労働者は、国の配置基準が低く、基準賃金も低いために、定着率が悪い。よって、介護労働者の求人倍率は15.5倍にのぼる。介護サービスの施設での介護労働者の定着のために、介護労働者の賃金を引き上げる必要があり、そのための県の施策に加えて、市独自の上乘せ賃金施策が必要ではないか、お考えをお聞きしたい。</p> | 市 長 関 係 課 長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--|---|------------------|
| 4 | 8 番 小 松 武 美 議 員 | <p>になることは目に見えています。国内でも営利目的の企業経営では儲からなければ撤退するリスクも予想されます。だからこそ国連機関は持続可能な小規模家族農業へ舵を切りました。しかし、日本は経営の大規模化と企業化という古い政策一本槍です。</p> <p>もう一つ問題なのは、「食料供給困難事態対策法案」で、緊急時には政府が生産者や流通関係者に、特定の作物の生産と流通を強制できるようにするものです。高齢化と後継者がいない現状で強制的に農産物を作れと言われても作れるでしょうか。私は無理だと思います。このような「食料・農業・農村基本法」には反対していかなければならないと思います。もっと直接的に農産物に補助金を出すような政策が求められていると思います。令和5年度は、円安による物価高騰やロシアによるウクライナ侵攻などで、農業資材や飼料が高騰し、それに対し補助金が出ました。</p> <p>(1) 令和6年度の補助金の見通しと、南陽市独自に農業資材や飼料などに補助金を出す考えはありますか。</p> <p>(2) 南陽市での交付数、交付率は。後継者育成の対策はどのように考えていますか。</p> <p>3. デマンドタクシーについて デマンドタクシーについて質問します。このことについては、3月議会の一般質問で取り上げられましたが、再度質問したいと思います。現在、高齢化が進みそれに伴い運転免許の返納を奨励しています。高齢者の事故を未然に防ぐためには有効な手段だと思います。しかし、返納した後は自家用車で買い物や病院へ気軽に行けたものが行けなくなってしまう。公共交通機関がある地域はまだいいですが、無い地域の松沢・金沢、大橋、俎柳の人たちはタクシーを使うしかありません。年金からタクシー代を捻出することは経済的に負担になります。また、公共交通機関がある地域でも、バスの止まるところまで歩いていかなければなりません。そのことも高齢者にとっては負担になります。</p> <p>やはりドアツードアのデマンドタクシーは、高齢者にとって欠かせない交通手段だと思います。</p> | 市 長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--------------------------------------|---|-------------------------|
| 4 | 8 番 小 松 武 美 議 員 | <p>料金は、おきタクのように一率ではなくて、地域によっては通常のタクシー代の半額くらいの負担で使えれば助かると思います。</p> <p>(1) 市内にデマンドタクシーの導入の考えはありますか。</p> <p>4. 学校給食無償化について 白岩市長は、3月の予算委員会に学校給食の無償化を実施すると明言されました。先ほども言いましたが、円安による物価の高騰やコロナ禍による失業などによって経済的に大変な家庭も多くあります。そして、3度の食事もともに与えられない家庭もあると聞いています。学校給食の無償化は家計の軽減になり、保護者にとってありがたい政策だと思います。</p> <p>(1) 学校給食無償化に伴う予算と、タイムスケジュールはどのようになっていますか。</p> | 市 長 教 育 長 関 係 課 長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--------------------------------------|--|------------------|
| 5 | 7 番 佐 藤 信 行 議 員 | <p>③ 児童手当、生徒手当の支援状況。</p> <p>④ 給食費補助の状況。</p> <p>⑤ その他の支援状況。</p> | |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|--------------------------------------|--|------------------|
| 7 | 1 番 高 岡 遼 多 議 員 | <p>ア入口に公示されている「建築物等の解体作業に関するお知らせ」には、「石綿含有あり」は、1階と2階のタイルカーペット接着剤等のみで、ごくわずかのアスベストに事よせて6,000万にも及ぶ公金を無にしてしまったのではと言うのが今回の報道に接した正直な市民の感情。そこをどう納得してもらえるかが課題と考えての質問。</p> <p>① 交渉はどのような交渉内容だったのか。本市の言い分の内容。</p> <p>② 四季南陽のアスベスト処理について分かる範囲で伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体業者への発注内容の詳細（改造計画書の提示） ・「建築物等の解体作業に関するお知らせ」以上の検査を必要とした理由 <p>③ アスベスト検出を理由にした計画断念の形だが、本当の理由は何らかの見込み違いからの資金不足にあったのではないか。協議の中でその点について話し合われたことはなかったのか。</p> <p>3. 秋葉山開発に関して</p> <p>(1) 夢を持って秋葉山を見る</p> <p>秋葉山に登って景色を見ながら弁当を頬張るというのは市民とくに宮内の人々にとってささやかな楽しみの一つだった。特に秋葉山荘から置賜盆地を囲む朝日連峰、飯豊連峰、吾妻連峰の山々は絶景で、今後この一帯が地域の貴重な資源として注目されても不思議ではない。秋葉山一帯のスプロール化（無秩序な開発）を防ぐため、「秋葉山開発公社」などを立ち上げて一帯の土地を抑え、並行してハイジア跡地を含めた開発構想を、四季南陽、地元経済界などを巻き込んで進めることはできないかと考えて質問。</p> <p>① 開発公社を作って四季南陽やハイジアパーク跡地に関する再生計画の実現性について</p> | 市 長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---------------------------------------|--|------------------|
| 8 | 11 番 須 藤 清 市 議 員 | <p>1. 今、これからの南陽市行政の方針と施策について 人口減少、少子高齢化、デジタル化、国際化、観光流動の増大化、地球温暖化、頻発する災害と避難復旧対策…。 変動する社会環境の中、市民の日常生活の今とこれからの及ぼす影響を予測し、市行政の展開をしていくか、以下の6つの点で、現状把握と方針と施策をおたずねします。</p> <p>(1) 人口減、少子高齢化の現状と対策</p> <p>(2) 広域連携の取り組み</p> <p>(3) 世界ブランドづくりへの取り組み 流動人口の増加が期待される観光地づくりによる「訪れて良し、住んで良し」の生きがい作りと経済効果の観点から</p> <p>(4) 市民の健康維持のための取り組み（認知症対策等）</p> <p>(5) 市民の考えを反映した市民参加のまちづくり活性化に向けて ・ 日常の市民意見の行政への取り込み ・ 投票率の高い選挙に向けて</p> <p>(6) 市内社会資本施設の老朽化チェックと維持・改修の見通し</p> | 市長 関係課長 |

| 受付順 | 質問者 | 質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・ | 答 弁 を 求 め る 者 |
|-----|---|--|------------------|
| 9 | 3 番 茂 出 木 純 也 議 員 | <p>でも8年連続で1位となっているが、現状、実際に農家の方からの声としてもまだまだ若い人が足りないと聞く。新規就農者が最多でも、東北6県で1位でも、農家の高齢化がどんどん続いているということは、まだまだ新規就農者、後継者が足りないということである。しかも、70代前半の農家での後継者問題は大きい。</p> <p>これらの観点から以下の質問を行う。</p> <p>(1) 本市の農業の現状と課題をどうとらえるか</p> <p>(2) 新規就農者への支援はどのようなものがあるか</p> <p>(3) 本市の農業共済加入状況は</p> <p>(4) 温暖化、高温時の対策対応について</p> <p>(5) 農産物のブランド化について取組状況は</p> | |